

# 製造業向け収益向上のための原価管理システム構築【オンラインライブ】(4124246)

「儲かる工場」の実現に向けた仕組み、仕掛けを紹介します。一番大事なことは正しい考え方・方法と手順でやるということです。まず、本当の「原価」とは何かを明らかにし、次の一手として原価管理システムを構築します。何よりも大切なことは正しい「管理技術」に気づくことです。この管理技術の一つが原価管理です。

開催日時	2024年5月23日(木) 9:00-16:00 ライブ配信	
JUAS研修分類	ビジネススキル(業種・業務知識)、共通業務(財務・税務・会計)	
カテゴリー	IS導入(構築)・IS保守 <b>専門スキル</b>	
講師	八木弘泰 氏 (株式会社管理技術ラボ 代表取締役) 中小企業診断士、特種、一種情報処理技術者。 富士通のSEとして、製造業向けのシステム構築に17年間従事。 本邦初の生産管理パッケージ「MAPS-V1」を開発。2010年「管理技術」の製造業・農業他への普及、定着化のため、「管理技術ラボ」を設立し、「製造業の競争力強化」のため、超上流工程から定着化・効果測定まで「業務再構築」が実施できる「ASGUIDE」を開発し、事業展開を行っている。 注)「ASGUIDE」とは、業務再構築のため管理技術を駆使したコンセプト・メソッド・ツールを体系化した方法論	
参加費	J U A S会員/ITC: 35,200円 一般: 45,100円 (1名様あたり 消費税込み、テキスト込み) 【受講権利枚数1枚】	
会場	オンライン配信 (指定会場はありません)	
対象	原価管理の設計、保守、運用を担当されているSE <b>中級</b>	
開催形式	講義	
定員	25名	
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。(2時間1ポイント)	
ITCA認定時間	6	

## 主な内容

### ■受講形態

ライブ配信 (Zoomミーティング) [\[セミナーのオンライン受講について\]](#)

### ■テキスト

開催7日前を目途にマイページ掲載

### ■開催日までの課題事項

特になし

## 製造業向け収益向上のための原価管理システム構築

～「儲かる工場」の実現のために「管理技術」に気付く～

残念なことに「一生懸命に間違ったことをやる」ということが散見されます。

一番大事なことは正しい考え方・方法と手順でやるということです。

本セミナーは「儲かる工場」の実現に向けた仕組み、仕掛けを紹介します。

まず、本当の「原価」とは何かを明らかにし、次の一手として原価管理システムを構築します。

何よりも大切なことは正しい「管理技術」に気づくことです。この管理技術の一つが原価管理です。

### ■主な内容

第1部 原価管理で利益を上げる

1. すべての企業で「原価計算」は実施

ーそれは、財務会計目的の「ドンブリ勘定」の原価計算です

2. 儲けるための原価計算は「製品別原価計算」

ー製品別とは、中間品目も部品も原価が計算できる仕組み

3. 原価計算は、単純な計算

－材料費、労務費、経費の費目毎に「単価×数量」で求める

－費目の設定で悩みます－目的を定め自由に費目設定する

－化粧品会社は材料費を容器費・原料・副原料に費目を設定

#### 4. 原価計算の概念図

－一般的原価計算と A B C 原価

#### 5. 実際原価計算のウソ

－コンピュータで正確に製品別実際原価表が計算されるが

#### 6. 真の原価とは

－本当の「製品の原価を知りたい！それは実際原価、標準原価

－多くのトップは、「実際原価」を知りたい

#### 7. 真の原価は標準原価

－実際原価は製造都度変動、製造後確定する事後情報

－標準原価とは、「正しい方法・手順」で製造された際の原価

#### 8. 「正しい方法手順で制作された際の原価」が標準原価

－歩留0、操業度百分率等々の理想原価ではなく、現行のレベルの生産技術等を加味し、かつ科学的に設定された原価

#### 9. 正しい実際原価を求める解決策は 10. 原価管理とは

－「基準・標準」の存在に対して、「実際」を把握し、「差異」を改善

－原価は、前述の単価×数量ですから、単価差異+数量差異=原価差異

－さらに単価差異をドリーリングして、操業度差異、予算差異等を把握改善

#### 10. 原価管理は標準原価と実際原価で成り立つ

－基準・標準の無い仕組に「管理は存在しない」=管理技術の基本

#### 11. 何が何でも「標準原価」の仕組を作る。（部品・原材料）

－原価標準を設定する 13. 何が何でも「標準原価」の仕組を作る2（加工費=労務費+経費）

－5%程度、「作業標準」を真面目に設定、他の品目はポイント法で設定

### 第2部 原価管理システム構築手順

#### 1. 目的の選択

－財務会計に正しい原価を提供したい

－特定の製品の実際原価を知りたい

－商談毎の見積原価を算出したい

－限界利益から製品のプロダクトミックスを

－原価低減を継続的に実施したい

#### 2. 原価計算の選択

－商的工業会計

－特殊原価調査と原価計算制度

－見積原価計算

－直接原価計算と全部原価

－標準原価と実際原価：原価管理

#### 3. 原価管理の構築手順

－目的の選択

－原価低減を継続的に実施する

－抜本的構築と暫時の構築

#### 4. 設計項目と方法

－費目の設計

－原価部門の設計

－チャージ計算

－製造間接費の配賦基準

－ABC原価

#### 5. 定着化と管理職の役割

### 第3部 管理技術で利益を上げる

#### 1. 管理技術による利益の獲得（利益率5割アップ）

－「管理技術による利益」

－獲得される「利益項目」の説明

－「業務再構築（BPR）」の目的は、「新たな利益の獲得」その一部が原価管理

#### 2. 管理技術とは

－業務知識ではない

- 「正しい考え方・正しい方法手順」が存在する
- 3. 業務毎の正しい方法手順とは—各業務の目的は何か
  - 在庫管理：「在庫精度の維持」が目的…在庫低減ではない
  - 工程管理：「作業指導」が目的
- 某社の工程管理のタブレット失敗例 製造業向け収益向上のための「原価管理システム構築手順セミナ」